

事業者向け

放課後等デイサービス
自己評価表

実施日 令和3年11月

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	9			車椅子が部屋にあると利用者のスペースが狭いので、活動室の使用方法を工夫していく 利用人数が多いときは部屋を分けて活動を実施
	2	職員の配置数は適切であるか	3	7	2		現状、配置基準を大幅に上回る手厚い人員配置をもって、医ケア児、重心児を含めた支援を実施している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	8	1		日々のミーティング時や全体職員会議の提案事項など、今後も積極的に取り入れていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	5			保護者会やアンケートなどで意向を確認し、可能な限り実施できるよう取り組んでいる。令和3年度は医ケア児の自宅送迎回数の増加に取り組んだ。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	3		1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	6	1	2	現在はまだ第三者評価を行っていないが、必要に応じて実施する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	2			新規職員研修、内部研修会を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2		1	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	7		1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	5		1	担当職員の異動・退職があり、令和3年度はプログラム立案に関わる職員が限定されていた。今後担当職員を増やすとともに、担当者以外も必要時に関わるようにして職員全体で活動プログラムの立案・実施を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	2		1	全職員が個々の課題等を支援前に情報収集してから活動に入るようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	2			日々実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	3		1	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	3				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	5			職員会議や日々のミーティング時などで計画の見直しの必要性を確認している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	7		1	ガイドラインの内容の周知説明を今度も行っていく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	5		1	相談支援事業所の相談員と連絡相談等を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	3		1	情報共有として担任の先生から必要時に申し送りを受けている。 保護者経由による学校情報の提供を依頼している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	2		2	関係機関との連携等を実施しながら医療的ケア児に対する支援の向上を図っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	1	3	必要に応じて実施していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	1	3	保護者に確認の上、必要に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	1	3	必要に応じて実施していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	6	2	コロナ禍で実施できていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	6		4	今後も必要に応じて参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1		2	日々の連絡などを必要に応じて実施、面談や保護者会時にも保護者とのコミュニケーションの機会を作っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6	1	3	必要な方に対し助言や情報提供を行っている。(支援の他、看護・PTなどの専門職からも実施)
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	3		3	「利用の手引き」を作成、説明を実施。 変更時には変更箇所を書面で配布、説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	5		2	必要時に実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	1	2	保護者会は年3回実施。コロナの感染状況が落ち着いている時に保護者参加行事を開催し、保護者の交流を図る機会が作れている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	4			苦情があった場合、法人本部にも情報を伝え、法人として対応を行えるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1			施設通信を2ヶ月ごとに発行を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	12				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	4	1	コロナ禍のため今年度は未実施
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	1	2	整備できている。医ケア児の送迎に関わるものやBCPについて今後追加整備を行い周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	3	1		定期的に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	3			虐待防止の研修会を実施している。令和3年度はチェックリストの定期的な実施と全体職員会議で検討する機会を増やして職員の意識向上に務めた。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	4		1	実施できている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	2			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	3			事故報告・ヒヤリハット事例について、情報共有と数か月後の振り返りを実施している。